

二子玉川で位置情報活用のモバイルサービス

東急電鉄は国立情報学研究所、日本情報経済社会推進協会と共同で、位置情報を使って、二子玉川（東京・世田谷）の街を楽しんでもらうモバイルサービス「ニコトコ」を11月30日から開始した。

新サービスは、二子玉川駅周辺エリアを対象に、街を訪れるサービス利用者のスマートフォンや携帯電話にカスタマイズした情報やクーポン、ポイントなどを配信する。街歩

東急電鉄が

「ニコトコ」

きを楽しんでもらい、店の買い回りや再来街、再来店を促進する。約1300店が登録している。

東急電鉄が運営する二子玉川ライズ・SCやテナントの東急フードシヨ、二子玉川東急ストア、二子玉川ドッグウッドプラザ、玉川高島屋SC、二子玉川地区の商店街など約200店が、QRコード付きのステッカーを掲出する。

「街歩き楽しんで」買い回り促す

利用者はTOKYUモバイルから事前登録し、QRコードをスマートフォン、携帯で読み込むと、各種サービスを受けられる。

利用者が読み込んだQRコードの履歴は、国立情報学研究所が運用する「ログ解析プラットフォーム」を通じて、建物の階数情報を含む屋内外の位置履歴情報（行動ログ）として蓄積される。行動ログを利用者のプロフィール情報などと組み合わせることで、利用者一人ひとりに適した情報を提供する。

提供するサービスは、利用者の行動情報を活用した推奨店情報、サービス参加店舗事業者が提供するクーポン、TOKYUポイントやグッズに交換できるニコトコ内の「ニコトコ」の発行、街中で取得できるスタンプラリーなど。サービス提供期間は12年3月31日まで。

このサービスは、経済産業省の11年度の産業技術実用化開発事業費補助金「Gプロジェクト」に採択された東急電鉄と国際航業の協業事業として運用する。